

小林・岩瀬川

オオヨドカワゴロモ守ろう 住民ら泥など除去

23.1.25 宮日



オオヨドカワゴロモ自生地で泥などを除去する
宮崎植物研究会会員や住民たち

宮崎植物研究会(南谷忠志
会長)は21日、小林市の岩瀬
川にだけ自生する水中植物オ
オヨドカワゴロモの保護活動

を行った。会員や市民ら約60
人が参加し、生育を妨げる泥
を除去した。
保護活動は、川の流れが遅

く、泥が堆積しやすいこの時
期に毎年実施。参加者はデッ
キブラシやほうきで、オオヨ
ドカワゴロモが張り付くよう
な岩場の泥やごみをこすり落
としていた。

南谷会長は「年々参加者が
増えている。オオヨドカワゴ
ロモが元気だということは、
上流からの水の環境がいい証
拠。この育成状態を維持でき
るよう住民に関心を持っても
らえれば」と話していた。

オオヨドカワゴロモはカワ
ゴケソウ科の種子植物で、透
明度が高い急流に育つ。果の
レッドデータブックで、ごく
近い将来絶滅の危険性が極め
て高い絶滅危惧ⅠA類に登録
されていて小林市は天然記念
物に指定している。